

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育内容（身体表現） 指導法 ナンバリング：2309	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名：金美珍 担当形態：単独
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ 1. 領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの身体表現における指導法を身につけることができる。 2. 具体的な身体表現活動を想定して指導案を作成し、保育実践をすることができる。 3. 様々な動きを応用し、子どもの身体表現活動に活用することができる。			
授業の概要 領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現意欲を養い、創造性を豊かにするような身体表現の指導法を身につける。			
授業計画 第1回：領域「表現」における身体表現 第2回：身体を使ったコミュニケーション遊び 第3回：身体を使ったコミュニケーション遊びの指導法 第4回：用具を用いた運動遊び 第5回：用具を用いた運動遊びの指導法 第6回：リズムに合わせた身体表現 第7回：リズムに合わせた身体表現の指導法 第8回：身体表現活動の指導案作成、模擬保育の準備 第9回：身体表現活動模擬保育 Aグループ発表と振り返り 第10回：身体表現活動模擬保育 Bグループ発表と振り返り 第11回：身体表現創作①テーマを決める 第12回：身体表現創作②パート創作 第13回：身体表現創作③全体練習（撮影ー動きの確認と改善） 第14回：身体表現創作④全体練習 第15回：身体表現創作⑤ステージ発表 定期試験：パート創作の実技試験、レポート		授業時間外の学習 授業前後に、あわせて1時間程度の自己学習を要する。 ・日頃から表現としてのジェスチャーや動作に意識をもつ。（毎日10～15分） ・コミュニケーション遊びのレパトリーを広げる。（1時間） ・指導案の作成。（3時間） ・模擬保育の準備。（2時間） ・ステージ発表に向けて、グループ、クラスで自主練習。（2時間） ・ステージスタッフとの打ち合わせ。（1時間）	
授業の方法 実技、演習。指導案や発表に対しコメントでフィードバックする。			
テキスト なし			
参考書・参考資料等 適宜、必要な資料を配布する。 『幼稚園教育要領』（最新版）、『保育所保育指針』（最新版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）			
学生に対する評価 定期試験（50%）、授業参画度（50%）。ルーブリックを活用し、総合的に評価する。			
履修上の注意 必ず時間までに指定のジャージに着替え、シューズを履いていること。 また、ネックレス及び指輪、イヤリング等の装飾品は外すこと。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			